

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成26年 3月20日（木）

午後 3時00分 開会

午後 3時34分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔報告案件の補足説明〕

1 「半田市・安城市新美南吉ゆかりの地交流協定」の締結について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

質疑なし

2 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金等について

笠井厚伸福祉部長：資料に基づき説明

質疑なし

3 第2次健康はんだ21計画の策定について

笠井厚伸福祉部長：資料に基づき説明

質疑なし

4 乙川東小学校と平小学校（南砺市）の姉妹校について

本間義正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

5 新美南吉の文学忌について

本間義正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

6 3階建て以上の建物における直結増圧給水方式の採用について

加藤幸弘水道部長：資料に基づき説明

質疑なし

〔その他〕

- ・ 知多バス亀崎ルートの変更について

堀寄敬雄企画部長：知多バス亀崎線のルート変更し、新たに出来ましたスーパー「トライアル」の前や亀崎地域総合福祉センターの前にバス停を新設するという計画をいたしておりました。しかしながら３月１３日に事業者である知多バスが愛知県の公安委員会から変更後のルートの道幅が狭く安全上問題があるため、バスを運行する事は危険だとの指導を受けた事によりまして、計画しておりました４月１日からのルート変更を一旦中止するとの報告がございました。既にこのルート変更につきましては、３月１５日号のはんだ市報などで掲載しているため、市民の皆さまへ訂正の周知を早急に行ってまいりたいと思っております。４月１日号の市報におきまして訂正を掲載し、本日、亀崎地区区長さんの集まりがございましたので、そちらでご説明をした後、回覧版での回覧をお願いしてまいります。また、ホームページや知多バス亀崎線のバス停、バスの車内などにも訂正の周知を行う予定であります。ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

鈴木幸彦議員：今回、市報にも掲載されて、それから遡ること２月２５日の地元の区長会でも企画部さんご出席のもと説明をしていただいて、私ども地域で喜ばしい事だという事で、地元の議員３人もいろんな会合等で説明させていただきまして、とても残念な事だと思います。ただ、今回発表された後に認可が下りなかったという事で、本来正式に決まってから発表されるべき、当然市報にも載ったという事は認可されたものだと私ども信じておったわけですが、今回順序が逆というか勇み足というか、そういった事をお聞きしたいのと先ほど部長から４月１日には間に合わないという話だったのですが、道の改善等もすぐに叶うものではないと思いますが、その後の予定を教えてくださいたいと思います。

堀寄敬雄企画部長：ここまでの経緯ですが、我々もルート変更につきましては、知多バスさんの方に再三確認はしてまいりましたが、その時の知多バスさんの返事は大丈夫ですというご返事でした。結果的に何故こういう事になったのか、知多バスさんにお尋ねした所、乙川でフィールさんが出来た時に同じように路線の変更手続きを知多バスさんがとっております。あそこは環状線ですから道幅が広くて、公安協議に係る事がなく簡単にルート変更が出来た経緯がありまして、知多バスさんはこの亀崎線についてもその程度に考えておられた所が、実際には大型車の通行禁止の規制に係っているような道路であったような状況がありますので、今回公安の方から道幅が狭いのだという事になったというように知多バスからお聞きしております。私達も今後はまるっきり知多バスさんをお願いするのではなく、現場をしっかりと見にいかないとい

けないと反省しております。そういった事もあって、この事が起こってからトライアルさんの所から西へ登っていく道、大型車の車両禁止が係っていて、角が曲がりにくいという事がひとつの理由と大型車車両禁止がもうひとつの理由で公安からストップが係っていました。現場を見に行ったところ、大型車車両禁止の道は、路線バスを除くという通行標識になっておりまして、路線バスの除くという事であればバスを通していただいても良いじゃないかという交渉を今行っておりますので、必ずしもOKになるという事ではありませんが、しっかりとご説明しておけば、可能性はあると思っておりますし、我々も必要があって変更したルートでありますので、是非とも実現出来るように再度頑張っておりますのでご理解をお願いいたします。

鈴木幸彦議員：当初、私どもに説明いただいた時にバスが小型化されますという話でしたけれど、私は地元で自分の車で走るにしても、亀崎福祉センターから降りて来て、トライアルに曲がる所の角は、朝や夕方でもそうですが、決して曲がれるようなイメージがなかったわけです。そうした中で知多バスさんや半田市も発表する前にチェックされなかったのかとても疑問に思いますが、実際に許可が下りなかったという事で先ほどの大型が通れる、通れないという以前の問題で、実際のところ私が思うに時が経てばこれが通れるようになるという部長のお話がどうも納得出来ない自分がありまして、これから地元にどのように説明をしていったら良いのか、先ほど市報で訂正だとか回覧という話もありますが、実際に福祉センター長を始め地元の方達のあの喜ぶ顔を見ているので、どう顔向けしたらよいかと思いますが、フォローはそれだけですか。

堀寄敬雄企画部長：ひとつ鈴木議員からもお話をいただきましたが、知多バスさんも大型バスから小型バスにこの路線だけ切り替えてもらえると事前にお約束いただいております。その小型のバスがあのかうぶを曲がれるという事は、私どもの職員も実際にバスを走らせた時に立ち会って見ておりますので、確かに言われるように苦しいですが、曲がれたので大丈夫だと思っていたのですが、公安の方からは安全上問題があると判断であったという事であります。あと、この先通れますというニュアンスで受け止めていただいたようですが、通れるかどうかはこれからの交渉次第ですので分かりませんが、必要な路線だと考えていますので、我々は通る事が出来るようにいろんな方をお願いする中で進めてまいりたいと思っています。フォローにつきましては、先ほどもお話したように、今日、亀崎地区のコミュニティの推進会議があるという事ですので、私どもの職員と知多バスさんにも直接説明に出向けという事で知多バスの職員を呼びまして、詳細についてはそこで、区長さん等にご説明したいと思っておりますし、議員さん達もそこに出席していただける。

【「今日は出席しない」と発言する者あり】

でしたら、また別の場を設けさせていただきます。地元の議員さん向けに詳細説明をさせていただきます。あと、知多バスの方にもバスの中に貼るですとか回覧を作るという事は貴方達のジャッジの間違いから始まった話ですから、しっかりやって下さいとお願いしておりますので、利用者の方にもバスやバス停で伝わるようにさせていただきますし、市といたしましても4月1日号の市報で訂正記事を載せていただきます。

松本如美議員：小型にするという事でその前提にたつて、トライアルの所の角が曲がりにくい、大型車両は路線バスを除いて進入禁止というから通れるという話だけでも、要は公安委員会が見て、ここは無理だとはっきり見たうえでの話なのかが分からなかったのと、見たうえでの判断だったら、これから先の話ですが、ゼロに戻ってやり直すのか、先ほどから可能性の話をされていますが、ちょっと前に進んでいるけれども、その障害を取り除けばいけるという事なのか、スタート地点が何処まで戻るのかがよく見えないのですが、その辺りどうなのか教えてください。

堀寄敬雄企画部長：我々も実は公安の判断基準をどう解釈してよいのか噛み砕けていません。元々公安から連絡があった時には、そこは大型車新入禁止ですからダメですという説明を一旦いただきました。その時点では、一旦納得をしましたが、現場へ行きますと今言ったように路線バスは除くという表示がありましたので、すぐに公安の方へ路線バスは除くとなっているので問題無いのではないですかと言いましたが、その時点での公安の対応は、現在バスが走っていないのでダメですという対応でしたので、そこにはしっかりと話をすればまだ道が開ける余地があるのではという事で、しっかりと公安と話し合い詰めていきたいと思っておりますが、日にちが無いものですから4月1日の許可を受けるのは、この時点で無理だというのは確定的ですので、とりあえず4月1日からというのは中止せざるを得ないという状況です。

新美保博議員：未だに分からない。4月1日は無理だけれど5月1日なら可能性があるという理解でよいのか。

堀寄敬雄企画部長：可能性はゼロでないと思って、今努力しております。

新美保博議員：今日、区長さんと話があるそうですが、何故議員がそこに入れないのか。路線バスを通しますと約束をしておいて、可能性があるとして延期になるとするならば、何故そこで仕分けしないといけないのか、こういった事情でこうなるという事を何故同時に共有しないのか。

堀寄敬雄企画部長：今日亀崎の区長さん方が集まるタイミングがあるという事が分かりましたので、その場の一定の時間をお借りして区長さんにご説明したいという事と、実はこの路線が通るという前回の話の説明も、同じ集まりの場で説明させていただいていますし、それが今日ありますので、その場で説明させていただきたいという事です。

新美保博議員：それでは、ちょっと聞くのが違うかも知れないけれど、議員は行って聞いて来て、その場で一緒に聞いてどういう状況でどうなったのかを聞いた方がいい。後で議員だけ聞いて、その現場で言われた事じゃ無い事を言われる可能性もあるわけだから、今日亀崎の３人は聞いて議会に報告して欲しい。それと市長。これが貴方が言う現場主義ですか。

榊原純夫市長：少なくとも現場へ知多バスさんと一緒に職員が確認していますので、十分で無かった点は謝罪させていただきますが、現場をしっかりと見るという事に関してはやっているつもりです。

新美保博議員：曲がれたかどうかの確認はしたかも知れないけれど、路線バスがどうのこうのというのはその後でしょ。今の説明からいけば。大型車が通れない、それで現場を見に行ったら路線バスは除くと書いてあったと、だから路線バスは通れるんじゃないかと言ったのは、その後でしょ、通れないと言われたから見に行ったんでしょ。そういうように聞こえたけれど、しっかりとってください。

堀寄敬雄企画部長：この路線の変更を計画した段階でも見に行っておりますし、その時に小型のバスを知多バスさんにご用意していただいて、曲がれるかどうかという事も確認しております。

新美保博議員：貴方がそこを見た時に路線バスは除くという標識はあったのか、無かったのか。その時にだよ。

堀寄敬雄企画部長：その時に大型車両が入れないという事は確認しましたが、その下に路線バスは除くという小さな表示がありますが、そこはその日の時点では見落としております。

新美保博議員：だからそれが現場主義ですかと聞いている。

榊原純夫市長：現場へ行かせた事は事実ですが、おっしゃるとおり十分に現場を確認していなかったのは、現場主義の合格点は当然とれないと思います。その点につきましては、謝罪させていただきます。申し訳ございませんでした。

成田吉毅議員：２日前に地元の議員という事で企画部の方からこの件についてお電話いただきまして、今日の全協で説明があると聞きました。ですから、当然書類があると思ったのですが、無かったものですから、いろいろ説明があった公安の話、バスが曲がれる、曲がれないだとか、あと大型は通行禁止だけれど路線バスは除くだとか、そういった諸々の内容がございましたが、そういった事を時系列も含めて詳しい内容を書面でいただけたらありがたいと思いますがいかがでしょうか。

堀寄敬雄企画部長：はい。時系列にまとめさせていただいて提出をさせていただきます。